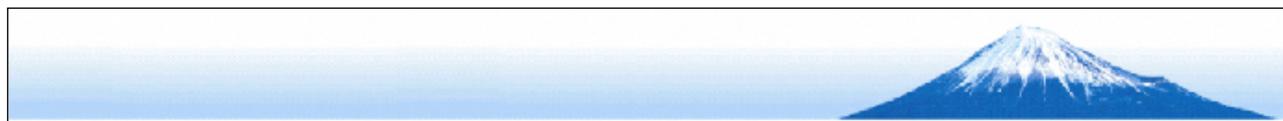


静岡県 の 財政状況

平成30年11月

静岡県



目 次

		[説明資料関連ページ]	
<“ふじのくに”の概況>	静岡県の人口・経済及び産業の状況	1	(5)
	静岡県に関する各種指標統計	2	(5)
<県政ビジョン>	平成29年度富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況	3	(15)
<静岡県の財政状況>	平成29年度一般会計 歳入決算の状況	4	
	平成30年度一般会計 歳入予算の状況	5	
	一般会計 歳入決算の推移	6	(23)
	一般会計 歳入(県税)決算の推移	7	(24)
	平成29年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況	8	
	平成29年度一般会計 歳出(款別)決算の状況	9	
	平成30年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況	10	(25)
	平成30年度一般会計 歳出(款別)予算の状況	11	
	一般会計 歳出決算の推移	12	(25)
	(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移	13	
	平成29年度 特別会計決算の状況	14	
	平成29年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)	15	(27)
	平成29年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)	16	(27)
	地方公社の状況	17-18	
	外郭団体の状況	19-20	
	今後の財政運営	21-24	(28)
	財政関係指標の推移(普通会計)	25-27	(26)
	財務諸表	28-34	
	県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)	35	(30)
<静岡県の起債運営>	財政課所管基金の年度末残高の推移	36	
	減債基金への積立ての状況	37	(30)
	プライマリーバランスの推移	38	
	静岡県公募公債の発行状況	39	(32)

静岡県人口・経済及び産業の状況

○静岡県の人口及び全国順位の推移

(単位：千人、%)

項目	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
静岡県人口数(A)	3,796	3,793	3,783	3,765	3,749	3,735	3,723	3,705	3,700	3,688	3,675
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
全国人口(B)	128,033	128,084	128,032	128,056	127,799	127,515	127,298	127,083	127,110	126,933	126,706
本県シェア(A/B)	2.96	2.96	2.95	2.94	2.93	2.93	2.92	2.92	2.91	2.91	2.90

※各年度10月1日現在での推計人口(総務省統計局データ)による(平成17、22年度は国勢調査数値、27年度は国勢調査速報値)。

○静岡県の県内総生産及び一人当たり県民所得の推移

項目	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
県内総生産(百万円)	17,998,943	17,267,761	16,050,800	16,389,652	16,421,453	16,322,934	16,730,907	16,567,762	17,292,439	15,230,519	15,411,485
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	-	-
一人当たり県民所得(千円)	3,406	3,152	2,867	3,039	3,083	3,061	3,201	3,209	3,316	3,263	3,273
全国順位	4	4	8	7	7	6	5	6	6	-	-

※平成27年度までの数値は、平成23年基準「平成27年度県民経済計算について(内閣府 経済社会総合研究所)」による。
 ※平成28、29年度の数値は、平成17年基準「平成29年度静岡県の県民経済計算(速報)」による。

○静岡県の製造品出荷額の推移

(単位：億円、%)

項目	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
静岡県製造品出荷額	194,103	191,777	150,510	157,931	143,915	157,077	156,991	160,507	164,125	161,322	-
全国順位	3	3	2	3	4	4	4	4	4	3	-
全国製造品出荷額	3,367,566	3,355,788	2,652,590	2,891,077	2,765,616	2,887,276	2,920,921	3,051,400	3,139,360	2,999,173	-
本県シェア	5.8	5.7	5.7	5.5	5.2	5.4	5.4	5.3	5.2	5.3	-

※各年度の数値は経済産業省公表の「工業統計表産業編(概要版)」による。

- 1 -

静岡県に関する各種指標統計

区分	項目	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
県勢基本	静岡県人口数(千人)	3,723	3,705	3,700	3,688	3,675
	全国順位	10	10	10	10	10
	合計特殊出生率	1.53	1.50	1.54	1.55	1.52
経済産業	全国順位	15	18	21	19	23
	県内総生産(億円)	167,309	165,678	172,924	152,305 速報値	154,115 速報値
	全国順位	10	10	10	-	-
	製造品出荷額等(億円)	156,991	160,507	164,125	161,322	-
	全国順位	4	4	4	3	-
	実質経済成長率(%)	2.3	-2.8	2.3	-	-
	全国数値(%)	2.2	-0.8	1.6	-	-
	医薬品生産額(億円)	6,208	4,835	4,551	-	-
	全国順位	2	4	5	-	-
	医療機器生産額(億円)	3,739	3,865	3,700	-	-
	全国順位	1	1	1	-	-
	化粧品生産額(億円)	1,858	1,517	1,381	1,645	1,689
	全国順位	2	3	5	3	3
	農産物産出額(億円)	2,138	2,154	2,204	2,266	-
	全国順位	16	15	15	15	-
海面漁業・養殖業生産額(億円)	516	532	582	568	(H31.4月公表予定)	
全国順位	6	6	6	7	-	
ホテル・旅館数	3,344	3,233	3,146	3,073	3,004	
全国順位	1	1	1	1	(H31.11月公表予定)	

区分	項目	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
経済産業	企業立地件数	50	53	55	74	95
	全国順位	3	3	4	1	1
	有効求人倍率	0.90	1.10	1.21	1.39	1.58
	全国数値	0.97	1.11	1.23	1.39	1.54
	完全失業率(%)	3.2	2.8	2.7	2.5	2.3
教育	全国数値	4.0	3.6	3.4	3.1	2.8
	大学・短大学生数(人)	38,254	38,162	38,229	38,393	38,423
	全国順位	16	16	15	15	15
	大学・短大等進学率(%)	53.0	53.1	53.9	53.1	52.9
	全国順位	15	17	17	17	18
環境	図書館数	97	97	98	98	97
	全国順位	-	-	-	-	-
	エコアクション21認証登録事業者数(件)	976	935	960	991	1001
	全国順位	1	1	1	1	1
	健康福祉	医療費(千円)(1人当たり)	283	290	301	301
全国順位(昇順)		8	8	8	8	-
1日平均在院・外来患者数(人)(10万人当たり)		1,464	1,461	1,451	1,659	(H30.10月公表予定)
全国順位(昇順)		3	3	4	4	-
生活保護率(%)		6.2	6.4	6.5	6.6	6.8
全国順位(昇順)	9	9	9	9	9	
行政	市町村への権限委譲対象法律数	124	126	126	128	125
	全国順位	1	1	1	1	1

- 2 -

平成29年度 富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況

路線		提供座席数(席)	搭乗者数(人)	搭乗率(%)	
国内線	新千歳線	ANA	119,981	70,056	58.4
	丘珠線	FDA	35,984	26,537	73.7
	出雲線	FDA(H30.3から)	1,064	988	92.9
	福岡線	FDA	239,296	157,362	65.8
	鹿児島線	FDA	60,056	38,972	64.9
	沖縄線	ANA	119,981	77,350	64.5
	チャーター便		5,628	4,057	72.1
	国内線計		581,990	375,322	64.5
国際線	ソウル線	エアソウル	121,146	82,363	68.0
	上海線	中国東方航空	114,054	73,747	64.7
	寧波線	中国東方航空	32,448	25,479	78.5
	杭州線		69,060	56,744	82.2
		北京首都航空	36,192	31,259	86.4
		中国東方航空	32,868	25,485	77.5
	瀋陽線	北京首都航空	4,524	2,798	61.8
	台北線	チャイナエアライン	65,716	51,097	77.8
	チャーター便		3,368	2,496	74.1
国際線計		410,316	294,724	71.8	
合計		992,306	670,046	67.5	

※欠航便、ダイハート便(他空港への降客)、引き返し便を除く

■ 年度別搭乗者数

(単位:千人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
国内線	352	316	266	251	293	305	309	335	375
国際線	176	239	146	196	166	244	390	276	295
合計	528	555	412	447	459	549	699	611	670

平成29年度一般会計 歳入決算の状況

(単位:百万円・%)

区分	平成29年度 決算	平成28年度 決算	比較	伸率	構成比	
					平成29年度	平成28年度
歳入決算額	1,227,774	1,215,978	11,796	1.0	100.0	100.0
県税	498,981	490,331	8,650	1.8	40.6	40.3
地方消費税清算金	139,798	134,051	5,747	4.3	11.4	11.0
地方譲与税	57,242	55,345	1,897	3.4	4.6	4.6
地方特例交付金	1,496	1,721	△ 225	△ 13.1	0.1	0.1
地方交付税	145,634	159,423	△ 13,789	△ 8.6	11.9	13.1
交通安全対策特別交付金	1,203	1,228	△ 25	△ 2.0	0.1	0.1
分担金及び負担金	3,626	3,610	16	0.4	0.3	0.3
使用料及び手数料	16,860	16,973	△ 113	△ 0.7	1.4	1.4
国庫支出金	113,361	126,002	△ 12,641	△ 10.0	9.2	10.4
財産収入	1,848	1,969	△ 121	△ 6.1	0.2	0.2
寄附金	140	170	△ 30	△ 17.6	0.0	0.0
繰入金	30,879	41,937	△ 11,058	△ 26.4	2.5	3.5
繰越金	14,072	13,695	377	2.8	1.1	1.1
諸収入	22,737	22,333	404	1.8	1.9	1.8
県債	179,897	147,190	32,707	22.2	14.7	12.1

平成30年度一般会計 歳入予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比		
					平成30年度	平成29年度	
歳 出 規 模	1,187,200	1,205,800	△ 18,600	△ 1.5	100.0	100.0	
一 般 財 源 等	県税	483,000	482,000	1,000	0.2	40.7	40.0
	地方消費税清算金	143,751	137,067	6,684	4.9	12.1	11.4
	地方譲与税	60,700	61,000	△ 300	△ 0.5	5.1	5.1
	地方特例交付金	1,740	1,854	△ 114	△ 6.1	0.2	0.1
	地方交付税	140,500	137,500	3,000	2.2	11.8	11.4
	臨時財政対策債	76,000	78,000	△ 2,000	△ 2.6	6.4	6.5
	その他	25,690	22,536	3,154	14.0	2.2	1.8
	計	931,381	919,957	11,424	1.2	78.5	76.3
特 定 財 源	国庫支出金	114,711	118,405	△ 3,694	△ 3.1	9.7	9.8
	県債	71,509	69,394	2,115	3.0	6.0	5.7
	繰入金	33,679	65,788	△ 32,109	△ 48.8	2.8	5.5
	その他	35,920	32,256	3,664	11.4	3.0	2.7
	計	255,819	285,843	△ 30,024	△ 10.5	21.5	23.7

- 5 -

一般会計 歳入決算の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
県税	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,979	4,063	4,232	4,478	4,883	4,903	4,990	4,830
構成比	37.5	40.3	43.0	49.6	47.3	34.4	34.4	34.6	35.2	35.9	37.4	39.8	40.3	40.6	40.7
地方交付税	1,652	1,691	1,442	1,280	1,161	1,484	1,683	1,640	1,647	1,555	1,556	1,515	1,594	1,456	1,405
構成比	14.1	14.9	12.7	11.2	10.1	12.2	14.4	14.3	14.3	13.2	13.0	12.4	13.1	11.9	11.8
国庫支出金	1,805	1,543	1,274	1,177	1,301	2,020	1,493	1,365	1,311	1,455	1,289	1,270	1,260	1,134	1,147
構成比	15.5	13.6	11.2	10.3	11.4	16.6	12.8	11.9	11.4	12.3	10.8	10.4	10.4	9.2	9.7
県債	1,676	1,348	1,254	1,425	1,837	2,340	2,197	1,952	2,051	1,989	1,859	1,456	1,472	1,799	1,475
通常債	1,150	945	890	1,096	1,437	1,506	657	716	781	692	619	580	656	962	660
特例債	526	403	364	329	400	809	1,518	1,221	1,259	1,284	1,211	838	750	743	760
病院債	—	—	—	—	—	25	22	15	11	13	29	38	66	94	55
構成比	14.4	11.9	11.1	12.5	16.1	19.3	18.8	17.0	17.8	16.8	15.5	11.8	12.1	14.7	12.4
その他	2,162	2,179	2,490	1,877	1,724	2,124	2,295	2,562	2,456	2,573	2,785	3,149	2,931	2,899	3,015
構成比	18.5	19.3	22.0	16.4	15.1	17.5	19.6	22.2	21.3	21.8	23.3	25.6	24.1	23.6	25.4
計	11,672	11,326	11,342	11,428	11,435	12,146	11,685	11,498	11,528	11,804	11,967	12,273	12,160	12,278	11,872

※平成29年度は決算見込、平成30年度は当初予算

※県債のうち「特例債」は、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金

- 6 -

一般会計 歳入(県税)決算の推移

(単位:億円・%)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
個人県民税	677	724	812	1,460	1,510	1,492	1,344	1,324	1,371	1,468	1,484	1,494	1,451	1,502	1,244
構成比	15.5	15.9	16.6	25.8	27.9	35.7	33.5	33.3	33.7	34.7	33.1	30.6	29.6	30.1	25.7
法人二税	1,620	1,818	2,046	2,184	1,988	885	893	913	953	1,049	1,257	1,280	1,371	1,378	1,443
構成比	37.0	39.8	41.9	38.5	36.7	21.2	22.2	22.9	23.5	24.8	28.1	26.2	28.0	27.6	29.9
その他	2,080	2,023	2,024	2,025	1,914	1,801	1,780	1,742	1,739	1,715	1,737	2,109	2,081	2,110	2,143
構成比	47.5	44.3	41.5	35.7	35.4	43.1	44.3	43.8	42.8	40.5	38.8	43.2	42.4	42.3	44.4
計	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,979	4,063	4,232	4,478	4,883	4,903	4,990	4,830

(参考)

地方法人特別譲与税	-	-	-	-	-	195	431	463	478	579	698	630	527	546	581
合計	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,373	4,448	4,442	4,541	4,811	5,176	5,513	5,430	5,536	5,411

※平成29年度は決算見込、平成30年度は当初予算

- 7 -

平成29年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区分	平成29年度決算	平成28年度決算	比較	伸率	構成比		
					平成29年度	平成28年度	
歳出決算額	1,214,905	1,201,907	12,998	1.1	100.0	100.0	
義務的経費	人件費	300,597	363,278	△ 62,681	△ 17.3	24.7	30.2
	扶助費	110,056	104,963	5,093	4.9	9.1	8.7
	公債費	184,928	184,778	150	0.1	15.2	15.4
	災害復旧費	1,135	1,752	△ 617	△ 35.2	0.1	0.2
	計	596,716	654,771	△ 58,055	△ 8.9	49.1	54.5
義務的経費以外	投資的経費	172,879	156,990	15,889	10.1	14.2	13.1
	公共・直轄	92,196	84,012	8,184	9.7	7.6	7.0
	単独等	80,683	72,978	7,705	10.6	6.6	6.1
	その他の経費	445,310	390,146	55,164	14.1	36.7	32.4
	計	618,189	547,136	71,053	13.0	50.9	45.5

- 8 -

平成29年度一般会計 歳出(款別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成29年度 決算	平成28年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成29年度	平成28年度
議会費	1,898	1,925	△ 27	△ 1.4	0.1	0.1
危機管理費	6,331	5,830	501	8.6	0.5	0.5
経営管理費	58,922	32,274	26,648	82.6	4.8	2.7
くらし・環境費	9,279	8,055	1,224	15.2	0.8	0.7
文化・観光費	14,983	11,608	3,375	29.1	1.2	1.0
健康福祉費	230,447	222,080	8,367	3.8	19.0	18.5
経済産業費	48,566	41,398	7,168	17.3	4.0	3.4
交通基盤費	129,683	122,903	6,780	5.5	10.7	10.2
警察費	77,372	77,238	134	0.2	6.4	6.4
教育費	241,257	305,298	△ 64,041	△ 21.0	19.9	25.4
災害対策費	1,252	2,000	△ 748	△ 37.4	0.1	0.2
公債費	184,928	184,778	150	0.1	15.2	15.4
諸支出金	209,987	175,489	34,498	19.7	17.3	14.6
企画広報費	0	11,031	△ 11,031	△ 100.0	0.0	0.9
計	1,214,905	1,201,907	12,998	1.1	100.0	100.0

- 9 -

平成30年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比		
					平成30年度	平成29年度	
歳 出 総 額	1,187,200 (1,212,210)	1,205,800 (1,205,800)	△ 18,600 (6,410)	△ 1.5 (0.5)	100.0 -	100.0 -	
義務的経費	人件費	301,490	302,130	△ 640	△ 0.2	25.4	25.0
	扶助費	114,343	108,570	5,773	5.3	9.6	9.0
	公債費	185,764	187,146	△ 1,382	△ 0.7	15.7	15.5
	災害復旧費	9,536	8,007	1,529	19.1	0.8	0.7
	計	611,133	605,853	5,280	0.9	51.5	50.2
税収関連法定経費	194,060 (219,070)	211,135 (211,135)	△ 17,075 (7,935)	△ 8.1 (3.8)	16.3 -	17.5 -	
義務的経費・ 法的経費・ 税外関連	投資的経費	174,113	169,269	4,844	2.9	14.7	14.1
	うち 公共・直轄	92,028	86,525	5,503	6.4	7.8	7.2
	うち 単独	79,609	81,343	△ 1,734	△ 2.1	6.7	6.7
	その他の経費	207,894	219,543	△ 11,649	△ 5.3	17.5	18.2
	計	382,007	388,812	△ 6,805	△ 1.8	32.2	32.3

※()内は政令市への移譲影響を除く額

- 10 -

平成30年度一般会計 歳出(款別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成30年度	平成29年度
議会費	2,005	2,014	△ 9	△ 0.4	0.2	0.2
知事直轄組織費	3,218	—	3,218	皆増	0.3	—
危機管理費	10,086	7,101	2,985	42.0	0.8	0.6
経営管理費	30,284	35,751	△ 5,467	△ 15.3	2.6	3.0
くらし・環境費	9,057	10,434	△ 1,377	△ 13.2	0.8	0.9
文化・観光費	14,434	15,675	△ 1,241	△ 7.9	1.2	1.3
健康福祉費	230,734	237,251	△ 6,517	△ 2.7	19.4	19.7
経済産業費	69,680	48,736	20,944	43.0	5.9	4.0
交通基盤費	109,506	123,442	△ 13,936	△ 11.3	9.2	10.2
警察費	80,096	78,095	2,001	2.6	6.7	6.5
教育費	242,057	243,592	△ 1,535	△ 0.6	20.4	20.2
災害対策費	9,663	8,120	1,543	19.0	0.8	0.7
公債費	185,764	187,146	△ 1,382	△ 0.7	15.7	15.5
諸支出金	190,316	208,143	△ 17,827	△ 8.6	16.0	17.2
予備費	300	300	0	0.0	0.0	0.0
計	1,187,200	1,205,800	△ 18,600	△ 1.5	100.0	100.0

- 11 -

一般会計 歳出決算の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
義務的経費	6,293	6,205	6,165	6,216	6,191	6,177	6,227	6,299	6,325	6,264	6,353	6,478	6,548	5,967	6,111
構成比	54.5	55.3	54.9	54.9	54.6	51.3	54.0	55.5	55.7	54.1	53.8	53.3	54.5	49.1	51.5
人件費	3,900	3,907	3,923	3,932	3,863	3,765	3,729	3,718	3,683	3,561	3,585	3,631	3,633	3,006	3,015
構成比	33.8	34.9	34.9	34.8	34.0	31.3	32.3	32.8	32.4	30.8	30.4	29.9	30.2	24.7	25.4
扶助費	568	564	626	659	686	724	774	810	851	888	929	1,003	1,050	1,101	1,143
構成比	4.9	5.0	5.6	5.8	6.1	6.0	6.7	7.1	7.5	7.7	7.9	8.3	8.7	9.1	9.6
公債費	1,735	1,651	1,579	1,588	1,608	1,678	1,697	1,715	1,714	1,776	1,799	1,812	1,848	1,849	1,858
構成比	15.0	14.7	14.1	14.0	14.2	13.9	14.7	15.1	15.1	15.3	15.2	14.9	15.4	15.2	15.7
災害復旧費	90	83	37	37	34	10	27	56	77	39	40	32	17	11	95
構成比	0.8	0.7	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.5	0.7	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.8
投資的経費	2,577	2,278	2,186	2,106	2,025	1,921	1,734	1,628	1,688	1,912	1,705	1,572	1,570	1,729	1,741
構成比	22.3	20.3	19.5	18.6	17.9	16.0	15.1	14.3	14.9	16.5	14.5	13.0	13.1	14.2	14.7
公共・直轄	1,373	1,195	1,114	1,006	897	892	920	903	935	1,024	879	825	840	922	920
構成比	11.9	10.7	9.9	8.9	7.9	7.4	8.0	8.0	8.3	8.9	7.5	6.8	7.0	7.6	7.8
単独等	1,204	1,083	1,072	1,100	1,128	1,029	814	725	753	887	826	747	730	807	821
構成比	10.4	9.6	9.6	9.7	10.0	8.6	7.1	6.4	6.6	7.7	7.0	6.2	6.1	6.6	6.9
その他	2,683	2,729	2,870	3,002	3,124	3,942	3,580	3,422	3,347	3,398	3,743	4,086	3,901	4,453	4,020
構成比	23.2	24.4	25.6	26.5	27.5	32.7	31.0	30.2	29.4	29.4	31.7	33.7	32.4	36.7	33.8
計	11,553	11,212	11,221	11,324	11,340	12,040	11,541	11,349	11,360	11,574	11,801	12,136	12,019	12,149	11,872
形式収支 (歳入 - 歳出)	119	114	121	104	95	106	144	148	168	230	167	137	141	129	—
実質収支	62	57	59	61	57	57	58	56	60	112 (62)	58	57	55	50	—

※平成29年度は決算見込、平成30年度は当初予算

※各年度の決算は、前年度からの繰越を含み、翌年度への繰越を含まない。

※実質収支は、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額

※平成25年度の実質収支の()書きは、平成26年度予算に計上している寄附金のうち、平成25年度に受け入れた50億円を除いた額

- 12 -

(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
義務的経費	6,338	6,202	6,169	6,259	6,194	6,205	6,261	6,351	6,345	6,285	6,389	6,476	6,562	6,022	6,111
構成比	54.5	55.1	54.6	54.9	54.1	50.3	53.9	55.2	54.2	54.5	53.4	53.3	53.5	49.0	51.5
人件費	3,908	3,914	3,936	3,951	3,881	3,778	3,749	3,734	3,722	3,575	3,604	3,643	3,645	3,024	3,015
構成比	33.6	34.7	34.9	34.7	33.9	30.7	32.3	32.4	31.8	31.0	30.1	30.0	29.7	24.6	25.4
扶助費	573	570	637	664	689	730	776	813	854	892	935	1,007	1,054	1,105	1,143
構成比	4.9	5.1	5.6	5.8	6.0	5.9	6.7	7.1	7.3	7.7	7.8	8.3	8.6	9.0	9.6
公債費	1,744	1,654	1,581	1,588	1,609	1,680	1,698	1,716	1,714	1,776	1,800	1,812	1,848	1,849	1,858
構成比	15.0	14.7	14.0	13.9	14.1	13.6	14.6	14.9	14.6	15.4	15.1	14.9	15.1	15.0	15.7
災害復旧費	113	64	15	56	15	17	38	88	55	42	50	14	15	44	95
構成比	1.0	0.6	0.1	0.5	0.1	0.1	0.3	0.8	0.5	0.4	0.4	0.1	0.1	0.4	0.8
税関関連法定経費	1,147	1,129	1,174	1,272	1,186	1,166	1,139	1,135	1,112	1,155	1,284	1,932	1,786	2,145	1,941
構成比	9.9	10.0	10.4	11.1	10.4	9.5	9.8	9.8	9.5	10.0	10.8	15.9	14.6	17.5	16.3
投資的経費	2,546	2,286	2,220	2,112	2,072	2,078	1,713	1,684	1,966	1,791	1,703	1,541	1,740	1,757	1,741
構成比	21.9	20.3	19.6	18.5	18.1	16.9	14.8	14.6	16.8	15.5	14.2	12.7	14.2	14.3	14.7
公共・直轄	1,336	1,197	1,122	992	907	987	983	941	1,196	886	866	800	968	967	920
構成比	11.5	10.6	9.9	8.7	7.9	8.0	8.5	8.2	10.2	7.7	7.2	6.6	7.9	7.9	7.8
単独等	1,210	1,089	1,098	1,120	1,165	1,091	730	743	770	905	837	741	772	790	821
構成比	10.4	9.7	9.7	9.8	10.2	8.9	6.3	6.4	6.6	7.8	7.0	6.1	6.3	6.4	6.9
その他	1,590	1,639	1,738	1,767	1,990	2,873	2,502	2,353	2,289	2,313	2,582	2,202	2,171	2,360	2,079
構成比	13.7	14.6	15.4	15.5	17.4	23.3	21.5	20.4	19.5	20.0	21.6	18.1	17.7	19.2	17.5
計	11,621	11,256	11,301	11,410	11,442	12,322	11,615	11,523	11,712	11,544	11,958	12,151	12,259	12,284	11,872

※平成30年度は当初予算

平成29年度 特別会計決算の状況

(単位:百万円)

区 分	会計の概要	歳入(A)	歳出(B)	差引(A)-(B)	差引の理由
公債管理	県債の償還金・利子の支払、県債管理基金への積立	423,261	423,261	0	—
自動車税等証紙徴収事務	自動車税及び自動車取得税の証紙徴収分の一般会計への振替	4,701	4,701	0	—
県営住宅事業	県営住宅の管理、修繕等	11,840	11,655	185	県営住宅の建替・修繕工事等における執行残及び翌年度繰越による
母子父子寡婦福祉資金	母子家庭等を対象とした生活資金、修学資金等の貸付	690	615	75	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
心身障害者扶養共済事業	心身障害者への年金の支給	658	658	0	—
林業改善資金	林業及び木材産業の生産の高度化等を図るための資金の貸付	280	18	262	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
沿岸漁業改善資金	沿岸漁業の振興を図るための資金の貸付	241	19	222	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
中小企業高度化資金貸付事業等	中小企業の創業や経営基盤強化を支援するための資金の貸付	12,096	9,829	2,267	貸付金の償還額が見込を上回ったこと及び翌年度繰越による
清水港等港湾整備事業	清水港などの荷役機械・上屋の整備、維持管理	10,100	9,968	132	清水港施設整備費等における執行残及び翌年度繰越による
流域下水道事業	流域下水道の整備、維持管理	5,729	5,628	101	翌年度繰越による
物品調達事務等	本庁、出先における物品調達事務等	1,660	1,660	0	—
計		471,256	468,012	3,244	

平成29年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)

(単位:百万円)

区分	事業の概要	収益的収支(損益勘定)			内部留保資金
		収入	支出	収支差引	
工業用水道事業	県下10市町の348事業所に工業用水を供給するため、柿田川、富士川、東駿河湾、静清、中遠、西遠、湖西の7事業を実施	4,802	4,365	437	6,282
水道事業	県下10市町に長期的に安定した良質の生活用水を供給するため、駿豆・榛南・遠州の3事業を実施	6,985	5,643	1,342	8,039
地域振興整備事業	工場の再編整備、集団化や優良企業の誘致など地域発展のための工業用地の造成事業を市町の土地利用計画と整合を図りながら実施	125	82	43	3,513
静岡がんセンター事業	本県がん対策の中核を担う高度がん専門医療機関として病院、疾病管理センター、研究所を運営	34,185	34,275	△ 90	9,497
計		46,097	44,365	1,732	27,331

- 15 -

平成29年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)

(単位:百万円)

区分	事業の概要	資本的収支(資本勘定)				収支差引
		収入	支出		収支差引	
企業債	企業債償還金					
工業用水道事業	県下7工業用水道事業で、送水管布設替工事等を実施(富士川、静清、中遠等)	800	558	3,037	992	△ 2,237
水道事業	県下3水道事業で送水管布設替工事等を実施(榛南、遠州等)	367	227	2,604	1,177	△ 2,237
地域振興整備事業	富士山麓フロンティアパーク 小山の造成工事等を実施	808	0	1,450	0	△ 642
静岡がんセンター事業	器械備品購入ほか	1,681	1,001	5,231	4,105	△ 3,550
計		3,656	1,786	12,322	6,274	△ 8,666

- 16 -

地方公社の状況① 改革計画への取組

団体名	これまでの成果(～H29)	行財政改革大綱 (平成26年3月策定)
静岡県 土地開発 公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った定員管理に努めており、平成17年度から29年度までに職員12人を削減して11人体制とし、退職者分は嘱託員で対応 ◎ 受託用地事業の拡大については、平成26年度の県との協議により、県予算の許す範囲での対応となり、県事業を継続して受託 県内全市町に対して受託活動を継続実施し、市町事業の受託を拡大 ◎ 点検評価表を県ホームページで公開 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 国、県の用地先行取得業務を確実に受託するとともに、受託先の拡大を図るため、市町への調査や働き掛けを継続して実施 ◎ 県からのあっせん事業の継続受託に努め、県と公社が一体となった効率的な用地取得体制を確立。なお、県からのあっせん事業の拡大について、平成26年度に検討 ※平成26年度の検討結果については、「これまでの成果」に記載
静岡県 道路 公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 毎年度、事業規模に見合った組織編成を行い、効率化を図った。(職員数は22年度の41人から29年度の35人へと6人削減(約15%減)) ◎ 関東圏等での誘客キャンペーン実施、旅行誌への広告掲載、伊豆スカイライン周辺の国道交差点における電光表示板による案内情報の提供、観光・宿泊施設等へのロードマップの配布などにより誘客を図った。また、お客様アンケートに基づき、トイレの改修工事を実施した。 ◎ 毎年度点検評価を実施し、大綱に基づく見直し等について検証を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 採算性を確保し、着実な償還を実施 ◎ 地域の交通の課題を解決するための伊豆中央道改築事業の実施や、標識等の多言語化、施設のバリアフリー化など、伊豆スカイライン及び箱根スカイラインを再整備 ◎ 企画割引の実施や、他の事業者とのイベント協力などにより地域振興に貢献
静岡県 住宅供給 公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 重点課題ごとにプロジェクトチームを設置し、経営改善対策を検討 ・借上賃貸住宅の入居促進、割賦債権不良化防止 ◎ 事業規模に見合った定員管理に努め、退職者の不補充等で正規職員数を21年度から29年度までに9人削減 ◎ 住宅管理業務を主要事業として位置づけ、入居者のための生活支援事業の推進、住宅管理サービスの充実、市町営住宅の管理受託の開始 ◎ 点検評価表を県ホームページで公開 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 公営住宅の管理を継続する一方、住宅や宅地の新規供給事業等については、役割を終えた清算事業として縮小、整理 ◎ 増加が著しい高齢・外国人入居者に対する支援を積極的に推進 ◎ 外部委託を希望する市町の公営住宅管理を新たに受託し、住宅情報の一元管理により県民サービスを向上

地方公社の状況② 決算状況

(単位:百万円)

区 分		静岡県土地開発公社		静岡県道路公社		静岡県住宅供給公社		
		平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	
出資状況	出資団体数	1	1	15	15	4	4	
	出資金額	本県出資額	20	20	7,523	7,523	10	10
		その他団体出資額	-	-	22	22	5	5
		計	20	20	7,545	7,545	15	15
貸借対照表	資産	流動資産	1,733	2,521	3,616	3,314	1,642	1,918
		固定資産	2,190	2,280	33,678	33,507	1,796	2,156
		繰延資産	-	-	11	17	-	-
		小計	3,923	4,801	37,305	36,838	3,438	4,074
	負債	流動負債	76	650	105	224	603	1,004
		固定負債	1,384	1,675	1,311	1,386	1,499	1,862
		特別法上の引当金等	-	-	21,864	21,098	-	-
		小計	1,460	2,325	23,280	22,708	2,102	2,866
	資本	資本金	20	20	7,545	7,545	15	15
		剰余金	-	-	6,480	6,585	1,321	1,193
		法定準備金等	2,443	2,456	-	-	-	-
		小計	2,463	2,476	14,025	14,130	1,336	1,208
	計		3,923	4,801	37,305	36,838	3,438	4,074
損益計算書	経常損益	営業収益 (a)	1,761	3,239	2,299	2,274	2,923	2,569
		営業費用 (b)	1,813	3,258	2,475	2,428	2,860	2,505
		営業利益 (c=a-b)	△ 52	△ 19	△ 176	△ 154	63	64
		営業外収益 (d)	29	35	87	116	17	33
		営業外費用 (e)	-	-	15	16	6	7
		経常利益 (f=c+d-e)	△ 23	16	△ 104	△ 54	74	90
	特別利益 (g)	-	-	-	-	54	70	
	特別損失 (h)	-	-	-	-	0	0	
当期損益 (i=f+g-h)		△ 23	16	△ 104	△ 54	128	160	

外郭団体の状況① 経営状況

平成30年3月末現在
(単位: %、百万円)

○全団体の状況

形態	所管	出資割合50%以上				出資割合50%未満			
		出資法人	出資金額 (出資割合)	平成29年度 経常収支	資本又は 正味財産	出資法人	出資金額 (出資割合)	平成29年度 経常収支	資本又は 正味財産
財団・ 社団 法人	知事部局	(公財) 静岡県産業振興財団	7,123 (100.0)	▲ 162.4	8,026	(公社) 静岡県農業振興基金協会	2,000 (49.9)	0.5	2,104
		(一財) 静岡県労働福祉事業協会	2,194 (100.0)	▲ 26.2	1,806	(公財) 静岡県漁業振興基金	1,575 (48.0)	▲ 6.1	3,716
		(公財) 静岡県舞台芸術センター	1,320 (100.0)	▲ 33.7	1,485	(公社) 静岡県畜産協会	195 (37.8)	16.8	230
		(公財) 静岡県文化財団	900 (89.8)	42.3	1,386	(公財) 静岡県腎臓バンク	150 (49.0)	2.3	327
		(公財) 静岡県国際交流協会	797 (85.9)	▲ 2.8	975	(公財) 静岡県コンテナ輸送振興協会	35 (33.3)	0.1	109
		(公財) 世界緑茶協会	393 (100.0)	2.1	397	(公財) 静岡県生活衛生営業指導センター	3 (45.5)	▲ 1.1	137
		(公財) しずおか健康長寿財団	245 (77.0)	0.3	359	(公財) 浜名湖総合環境財団	50 (24.3)	▲ 54.8	570
		(公財) 静岡県障害者スポーツ協会	76 (75.4)	2.6	99				
		(公社) 静岡県農業振興公社	50 (50.0)	0.0	57				
		(一財) ふじのくに医療城下町推進機構	100 (100.0)	0.2	100				
	(一財) アグリオーブイノベーション機構	3 (100.0)	0.0	3					
	公安委員会	(公財) 静岡県暴力追放運動推進センター	660 (81.0)	▲ 1.0	922				
	教育委員会					(一財) 静岡県青少年会館	100 (40.0)	▲ 0.1	268
地方公社	静岡県道路公社	7,523 (99.7)	▲ 104.5	14,025					
	静岡県土地開発公社	20 (100.0)	▲ 22.5	2,463					
	静岡県住宅供給公社	10 (66.7)	73.5	1,336					
会社法人					天竜浜名湖鉄道(株)	39.7 (39.7)	▲ 157.3	176	
					(株)エイ・ピー・アイ	20 (39.0)	3.4	212	

※「外郭団体」とは、「県の出資割合が25%以上の法人」又は「県が出資し、職員を派遣をしている法人」

<参考>

形態	地方独立行政法人	出資金額 (出資割合)	平成29年度 経常収支	資本又は 正味財産
地方独立 行政法人	静岡県公立大学法人	22,361(100.0)	94.0	20,258
	公立大学法人静岡文化芸術大学	16,810(100.0)	64.8	13,794
	静岡県立病院機構	6,823 (100.0)	827.6	14,952

外郭団体の状況② 赤字法人の状況

○平成29年度経常収支赤字法人

(単位: 千円)

形態	出資法人	事業の概要	H29経常収支	公益目的事業収支 (公益法人のみ)	経常収支が赤字の理由	今後の収支改善の見通し		
公益法人	(公財) 静岡県産業振興財団	・中小企業等の産業創出支援、経営基盤の強化 ・科学技術研究開発の促進 ・新産業集積クラスターの推進	▲ 162,372	▲ 186,078	<p>公益法人認定基準を踏まえ、 公益目的事業費 ≥ 公益目的事業収入 とするため、計画的に赤字を計上</p> <p>※公益認定基準【公益法人認定法 第5条第6項】 その行う公益目的事業について、当該公益目的事業に係る収入がその実施に要する適正な費用を償</p>			
	(公財) 静岡県舞台芸術センター	静岡県の芸術文化振興のための演劇、舞踊等の舞台芸術に関する創造活動等	▲ 33,698	▲ 27,322				
	(公財) 静岡県生活衛生営業指導センター	生活衛生関係営業者に対する指導	▲ 1,105	▲ 450				
	(公財) 静岡県国際交流協会	国際理解・交流及び多文化共生の推進	▲ 2,818	▲ 2,764				
	(公財) 浜名湖総合環境財団	浜名湖における船舶等の航行安全の確保、公共係留施設の管理運営	▲ 54,840	▲ 35,489				
	(公財) 静岡県漁業振興基金	漁業振興及び栽培漁業推進	▲ 6,058	▲ 9,498				
	(一財) 静岡県労働福祉事業協会	勤労者福祉施設の管理運営	▲ 26,249	-			「おおとり荘」における宿泊者が伸びなかったため	営業活動の強化、積極的な情報の発信、おもてなしサービスの向上、地域との連携・貢献により利用客増加に向けた取組による宿泊者数の増加対策を実施
	(公財) 静岡県暴力追放運動推進センター	暴力団犯罪被害者救援事業、少年や暴力団離脱者に対する保護救済事業、民間団体等が行う暴力団排除活動の支援事業及び不当要求防止責任者に対する講習事業	▲ 1,012	▲ 327			早期償還等による基本財産利息運用収益の減少、不当要求防止責任者講習の受講者増加による同講習にかかる経費の増加	機会を捉えた積極的な広報により協賛会員の増加を図るとともに、不当要求防止責任者講習の内容等を見直すなど、コストカットによる収支バランスの均衡を図る。
(一財) 静岡県青少年会館	青少年会館の運営	▲ 4,682	-	基本財産運用収入及び会議室等貸付収入の減	青少年団体活動を活発に行い、青少年会館の利用率向上を図る。			
公社	静岡県道路公社	有料道路事業、一般自動車道事業及び高架下施設の管理・運営等	▲ 104,492	-	東京五輪自転車競技の伊豆開催に向け、平成27～31年度において、先行・集中的に施設改修を行う「新ブランドデザイン」の実施に伴い支出が増加したため	道路収入については、H29年度実績もほぼ前年並み水準を維持しており、集中投資が完了する2020年度以降は、単年度黒字を見込む		
	静岡県土地開発公社	・道路、河川等用地の先行取得及び先行取得した土地の国、県、市町への売却 ・国、県、市町の道路、河川事業等に係る用地事務の代行	▲ 22,526	-	計画していた一部事業について、県や市からの委託が行われず、予定していた収入を確保できなかったため	国、県、市町等から、先行取得事業や用地事務の計画的な受託に努めることにより、安定的な経営を目指す		
会社法人	天竜浜名湖鉄道(株)	地方鉄道線(天竜浜名湖線)の経営	▲ 157,334	-	老朽化した施設設備の更新による費用が計画以上に増加したため	県と沿線市町が基金を造成し、会社が策定した「天竜浜名湖鉄道中期経営計画(H26～30年度)」に基づき計画的に支援しており、支援を含めた収支は均衡		

今後の財政運営①

1 今後の財政運営の考え方

平成30年度当初予算策定時

(1) 収支均衡を目指す

厳しい財政環境の中、本県の財政運営は、これまで財政調整用の基金を取り崩すことで、歳入と歳出の収支差である財源不足を補ってきた。

しかし、近年の景気回復傾向の継続により、平成30年度の県税収入は、前年度に比べ実質260億円の増加が見込まれるなど、一般財源総額が増加する見通しとなった。これにより、平成30年度当初予算編成では、財源不足額を平成29年度当初予算と比べて200億円以上少ない218億円まで圧縮し、活用可能な基金を313億円まで確保することができた。

＜当初予算における財源不足額と活用可能な基金の残高の推移＞

(単位:億円)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
財源不足額 (財政調整用基金による補填額)	△ 324	△ 399	△ 388	△ 456	△ 218
活用可能な基金残高	252	355	361	161	313

こうした状況を踏まえ、財政調整用の基金に頼る従来の財政運営からの転換を図り、基金を除いたその年度の歳入によってその年度の歳出を補う、収支が均衡した財政運営を目指し、健全な財政運営の下に、平成30年度からスタートする次期総合計画「静岡県の新ビジョン」を推進する。

区 分	現 状(H28)	目 標
収支均衡	財源不足額 (財政調整用基金による補填額) △205億円	財源不足額 (財政調整用基金による補填額) 0
通常債残高	1兆6,100億円	上限1兆6,000億円程度
実質公債費比率	13.50%	18%未満
将来負担比率	228.00%	400%未満

- 21 -

今後の財政運営②

2 試算の前提

平成30年度当初予算策定時

(1) 歳入

①一般財源総額

- ・ 経済動向と連動する法人事業税をはじめとした県税収入は、内閣府試算(平成30年1月「中長期の経済財政に関する試算」)におけるベースラインケースの名目経済成長率に基づき増加するものとして推計した。
- ・ 一方で、地方財政は、三位一体の改革以降、一般財源総額(地方税、地方交付税、臨時財政対策債等の合計額)が概ね同規模に抑制されていることを踏まえ、現行制度による一般財源総額は、30年度当初予算と同額で据え置かれるものとした。
- ・ 但し、消費税率の引上げ(2019年10月～)に伴う増収分は、社会保障の充実分と既存の社会保障の安定化のための財源として活用されることが決定しているため、一般財源総額に加算した。

＜内閣府試算(ベースラインケース)＞

(単位:%)

区 分	2019年度	2020年度	2021年度
名目経済成長率	2.4	2.2	1.9

②その他特定財源

- ・ 歳出に連動して推計した。

(2) 歳出

①義務的経費等

- ・ 人件費は、今後の増減員、退職者数の見込みに基づき推計した。
- ・ 扶助費は、高齢者人口の増加などを踏まえて推計した。
- ・ 消費税率の引上げに伴う増収分の使途として、社会保障の充実分を扶助費に、市町への交付金等を税収関連法定経費に反映した。
- ・ 公債費は、今後発行分の県債の利率を、内閣府試算値(0.0～0.7%)により推計した。

②義務的経費等以外

- ・ 年次計画に基づく事業は計画額、その他の事業は30年度当初予算と同額とした。

- 22 -

今後の財政運営③

平成30年度当初予算策定時

3 試算結果

<予算編成時>

(単位:億円)

区 分	平成29年度 年間	平成30年度	2019年度	2020年度	2021年度	
歳出	義務的経費	6,022	6,111	6,160	6,324	6,369
	通常分	6,022	6,111	6,146	6,202	6,204
	社会保障の充実分	—	—	14	122	165
	税関関連法定経費	2,145	1,941	1,989	2,378	2,711
	通常分	2,145	1,941	1,945	1,984	2,178
	消費税率引上げ分	—	—	44	394	533
	投資的経費・その他の経費	4,117	3,820	3,773	3,706	3,625
	うち歳出の見直し額	—	—	△40	△40	△20
	計	12,284	11,872	11,922	12,408	12,705
	新ビジョンの主な事業費	—	3,260	3,160	3,140	3,010
歳入	県税・交付税等	9,204	9,098	9,169	9,723	10,123
	通常分	9,204	9,098	9,104	9,146	9,342
	消費税率引上げ分	—	—	65	577	781
	社会保障の充実分	—	—	14	122	165
	税関関連法定経費分	—	—	44	394	533
	社会保障の安定化分	—	—	7	61	83
	県債	1,079	715	696	719	657
	国庫支出金等	1,866	1,841	1,855	1,813	1,796
	計	12,149	11,654	11,720	12,255	12,576
	差引	△135	△218	△202	△153	△129

<執行段階>

歳入の確保	—	80	80	80	80
効率的な予算執行等	—	60	60	60	60

<年間>

財源不足額 (財政調整用の基金による補填額)	△135	△78	△62	△13	(11)
翌年度以降に活用可能な基金残高	531	453	391	378	389

- 23 -

今後の財政運営④

平成30年度当初予算策定時

4 新ビジョンの目標値の推移

区 分	目標値	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
収支均衡	[財源不足額] (財政調整用の基金による補填額) 0	["] △78億円	["] △62億円	["] △13億円	["] (11億円)
県債残高 (通常債)※	1兆6,000億円程度を上限	1兆5,693億円	1兆5,204億円	1兆4,730億円	1兆4,219億円
実質公債費比率	18%未満	14.2%	14.2%	14.3%	13.9%
将来負担比率	400%未満	237.3%	234.3%	221.2%	207.8%

(注) 臨時財政対策債は「実質的な地方交付税」とされているため、通常債から除外
病院債は、県立病院の独立行政法人化に伴う県債であり、償還財源の全てが病院事業により措置されるため、通常債から除外

- 24 -

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位:%)

区分		平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
財政力 指数	本県	65.3	69.6	72.9	76.6	75.6	71.5	67.8	66.7	68.4	69.1	71.0	72.0	72.8
	全国	42.8	46.4	49.7	52.1	51.6	49.0	46.5	45.5	46.4	47.3	49.1	50.5	51.6
	順位	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
経常収 支率	本県	90.9	90.8	93.6	92.5	93.3	89.7	94.9	94.2	92.9	91.0	94.9	97.6	94.5
	全国	92.8	93.6	96.7	95.3	95.2	90.9	93.9	94.1	93.1	93.0	93.4	95.4	-
	順位	10	4	5	7	9	17	32	25	22	6	27	37	-
実質赤 字率	本県	-	-	(黒字)										
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連結 実質赤 字率	本県	-	-	(黒字)										
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実質公 債費 率	本県	12.9	12.4	11.6	11.7	13.1	14.3	15.3	15.0	14.9	14.5	14.0	13.5	13.4
	全国	14.5	14.4	14.0	13.9	14.4	14.8	15.1	14.8	14.6	13.1	12.7	12.7	-
	順位	14	10	9	10	16	20	24	25	27	26	26	27	-
将来負 担率	本県	-	-	247.3	248.1	262.6	251.8	248.2	241.1	239.1	229.8	223.1	228.0	238.4
	全国	-	-	235.1	234.8	235.6	218.7	214.9	208.4	200.9	187.0	175.6	186.2	-
	順位	-	-	30	28	32	36	35	35	37	36	36	38	-

※順位は、財政の健全性の高い都道府県から1位とした。

※指数及び比率の全国の数値は、総務省算定値

財政関係指標の推移(普通会計)

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額(注1)を基準財政需要額(注2)で除して得た数値の過去3年間の平均値

(注1) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法により算定した額

(注2) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法により合理的に算定した額

【経常収支比率】

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、経常的経費に充当された一般財源の経常一般財源総額に対する割合

【実質赤字比率】

地方公共団体の財政運営の悪化度合いを示す指標で、当該地方公共団体の一般会計等(注3)を対象とした実質赤字額(注4)の標準財政規模に対する割合

(注3) 一般会計及び特別会計のうち普通会計に相当する会計

(注4) 実質赤字の額 = 繰上充用額 + (支払繰延額 + 事業繰越額)

【連結実質赤字比率】

地方公共団体全体としての財政運営の悪化度合いを示す指標で、すべての会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合

【実質公債費比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを客観的に示す指標で、地方債元利償還金相当額(注5)に充当された一般財源の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注5) 地方債元利償還金に公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金等を加えた額

【将来負担比率】

地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を表す指標で、地方債残高や、将来の公営企業への繰出見込額、退職手当の支給予定額、

第3セクターへの損失補償額等の合算額の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位:%)

区 分		平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
自主財源比率	本県	47.4	50.7	50.6	51.0	53.0	57.3	55.9	56.2
	全国	50.4	49.4	50.9	51.1	53.5	55.9	53.6	-
	順位	12	10	10	10	10	7	7	-
地方税比率	本県	37.8	38.0	38.7	39.1	41.7	47.3	47.0	47.5
	全国	31.8	30.2	31.6	32.6	34.4	38.7	39.2	-
	順位	6	5	6	6	6	5	6	-
法人税比率	本県	7.8	8.1	8.4	9.0	10.7	11.0	11.9	11.8
	全国	6.0	5.8	6.3	6.8	7.7	8.4	9.3	-
	順位	4	5	5	5	5	5	5	-

【自主財源比率】

地方財政の自主性がどの程度発揮できるかを示す指標で、県が自主的に確保できる収入の歳入全体に対する割合

[地方税+分担金及び負担金+使用料及び手数料+財産収入+寄附金+繰入金+繰越金(前年度実質収支)+諸収入]÷歳入合計

【地方税比率】

地方税収入の歳入全体に対する割合

【法人税比率】

地方税のうち法人二税(法人県民税・法人事業税)収入の歳入全体に対する割合

- 27 -

財務諸表① 統一的な基準による財務諸表の作成

- 本県では、平成27年度決算まで、県の所有する資産、負債等の状況や、行政サービスに要するコストの状況などを県民に分かりやすく開示するため、「基準モデル」等により、財務諸表を作成してきました。
- 平成28年度決算からは、国から新しく示された「統一的な基準」による財務諸表を作成します。

「基準モデル」から「統一的な基準」への主な変更点

項 目	主 な 変 更 点
貸借対照表	・固定資産の評価基準の変更(原則再調達価額⇒原則取得価額)
行政コスト計算書	・インフラ資産の減価償却費を計上
純資産変動計算書	・インフラ資産の減価償却費を除外(行政コスト計算書に計上)
資金収支計算書	・支払利息の計上箇所を財務活動収支から業務活動収支に変更

- 28 -

財務諸表② 貸借対照表

貸借対照表では、主に県が保有している「資産」と、将来世代が負担する「負債」の状況が確認できます。

＜貸借対照表＞

(単位：億円)

	借方	金額	貸方	金額
	【資産の部】		【負債の部】	
	固定資産	35,198	固定負債	33,740
庁舎・県立学校・県営住宅など、将来的に資金流入が見込まれる資産を計上	有形固定資産	28,668	地方債	30,538
	事業用資産	8,767	(うち臨時財政対策債)	11,410
	インフラ資産	19,734	退職手当引当金	3,120
	物品	167	その他	82
県道・橋りょう、空港など、将来にわたって行政サービスを提供し、資金流入が見込まれない資産を計上	無形固定資産	8	流動負債	1,468
	ソフトウェア	6	1年内償還予定地方債	1,199
	その他	2	(うち臨時財政対策債)	115
	投資その他の資産	6,522	賞与等引当金	205
	投資及び出資金	1,366	その他	64
	基金	4,650	負債合計	35,208
	その他	506		
県税や使用料などの未収金を計上	流動資産	1,212	【純資産の部】	
	現金預金	206	固定資産等形成分	36,140
	未収金	65	余剰分(不足分)	△ 34,938
	基金	847	純資産合計	1,202
	その他	94		
	資産合計	36,410	負債・純資産合計	36,410

財務諸表③ 行政コスト計算書

行政コスト計算書では、主に県が行政サービスを行うために必要な「経常費用」と、サービスの対価として受益者が負担する使用料などによる「経常収益」、またその差額に臨時損益を加えた「純行政コスト」が確認できます。

＜行政コスト計算書＞

(単位：億円)

	金額	構成比	区分	金額	構成比
	経常費用		経常収益		
経常的に必要な費用を人にかかると、物にかかると、県債の支払利息等その他業務にかかるコストに分類して計上	業務費用	6,031	使用料及び手数料	252	47.4%
	人件費	3,615	その他	280	52.6%
	職員給与費	3,052			
	賞与等引当金繰入額	205			
	退職手当引当金繰入額	285			
	その他	73			
	物件費等	1,935			
	物件費	651			
	維持補修費	480			
	減価償却費	804			
	その他の業務費用	481			
	支払利息	374			
	徴収不能引当金繰入額	9			
	その他	98			
	移転費用	3,880	39.1%		
補助金等	3,677	37.1%			
社会保障給付	173	1.7%			
他会計への繰出金	14	0.1%			
その他	16	0.2%			
経常費用 A	9,911	100.0%	経常収益 B	532	100.0%
			純経常行政コスト A-B	9,379	-
臨時損失			臨時利益		
資産売却却損	19	105.6%	資産売却益	6	100.0%
損失補償等引当金繰入額	△ 1	△ 5.6%			
臨時損失 C	18	100.0%	臨時利益 D	6	100.0%
			純行政コスト A-B+C-D	9,391	-

財務諸表④ 純資産変動計算書、資金収支計算書

純資産変動計算書では、これまでの世代が形成してきた資産が、どれだけ増減したかが確認できます。

資金収支計算書では、1年間の現金の動きと年度末の残高（期末資金残高）を確認できます。

＜純資産変動計算書＞ (単位：億円)

区 分	金 額
前年度末純資産残高 A	1,711
純行政コスト	△ 9,391
財源	8,866
税金等	7,585
国県等補助金	1,281
その他	16
本年度純資産変動額 B	△ 509
本年度末純資産残高 A + B	1,202

プラスの場合
将来世代も利用可能な資源を貯蓄

マイナスの場合
将来世代が利用可能な資源を現世代が消費

マイナスの場合の最終的な本年度の純資産の減額は固定資産等の内部移動で賄う

＜資金収支計算書＞ (単位：億円)

区 分	金 額
I 業務活動収支 B - A	249
1 業務支出 A	9,153
2 業務収入 B	9,402
II 投資活動収支 D - C	△ 596
1 投資活動支出 C	1,839
2 投資活動収入 D	1,243
III 財務活動収支 F - E	305
1 財務活動支出 E	2,614
2 財務活動収入 F	2,919
本年度資金収支額	△ 42
前年度末資金残高	196
本年度末資金残高 G	154

人件費・物件費・補助金支出などの支出と、県税・地方交付税などの収入による収支を計上

基金や公共事業などの収支を計上

地方債の発行や償還などによる収支を計上

前年度末歳計外現金残高	53
本年度歳計外現金増減額	△ 1
本年度末歳計外現金残高 H	52
本年度末現金預金残高 G + H	206

※ ここに掲載している財務諸表は、要約版であり、それぞれの勘定科目の中で重要な科目について表したものとなっています

財務諸表⑤ 指標で見た静岡県の財務状況

指標	28年度	指標の説明
県民1人あたり資産額	99万円	● 県がこれまでに整備した土地・建物や、積み立てた基金、保有する現金などの全ての資産について、県民1人あたりではどのくらい保有しているのかを表しています。 【算式】 資産総額 / 住民基本台帳人口 (年度末)
県民1人あたり負債額	96万円	● 県債などの負債が、県民1人あたりではどのくらいなのかを表しています。 ● 県債は地方公共団体が、公共資産（道路、建物等）を整備する際に、世代間の負担の平準化等を図るために発行するものです。 【算式】 負債総額 / 住民基本台帳人口 (年度末)
県民1人あたり純行政コスト	26万円	● 県が資産形成に結びつかない行政サービスを行うにあたり、県民1人あたりでどのくらいのコストが必要かを表しています。 【算式】 純行政コスト / 住民基本台帳人口 (年度末)
社会資本等形成の将来世代負担比率	56.6%	● 土地・建物や投資などの公共資産を形成するために、県債など将来の負担が必要となる負債をどの程度活用したかを見ることで、社会資本等の形成に関する将来世代の負担割合を表しています。 【算式】 地方債 + 未払金 / 固定資産合計
有形固定資産減価償却比率 (資産老朽化比率)	68.0%	● 有形固定資産のうち、償却資産の取得額に対する減価償却累計額の割合です。この数値が大きいと所有している資産の老朽化が進んでいることを意味します。 【算式】 減価償却累計額 / 有形固定資産 (償却資産のみ) + 減価償却累計額
債務償還可能年数	29.6年	● 実質債務 (将来負担額 - 充当可能基金残高) が当該年度の業務活動収支の黒字分等を償還財源とする場合に何年で償還できるかを表しています。 【算式】 実質債務 (将来負担額 - 充当可能基金残高) / 業務活動収支 + 減収補填債特例発行額 + 臨時財政対策債発行可能額

財務諸表⑥ 全体

全体財務諸表は、一般会計等と公営企業会計を対象として作成しています。

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	37,936	固定負債	34,986
有形固定資産	31,600	地方債	31,474
事業用資産	9,045	退職手当引当金	3,153
インフラ資産	22,151	その他	359
物品	404		
無形固定資産	30	流動負債	1,631
投資その他の資産	6,306	1年内償還予定地方債	1,303
流動資産	1,658	賞与等引当金	212
現金預金	560	その他	116
未収金	116		
基金	847		
その他	135		
		負債合計	36,617
		純資産の部	金額
		固定資産等形成分	38,878
		余剰分(不足分)	△ 35,901
		純資産合計	2,977
資産合計	39,594	負債及び純資産合計	39,594

区分	金額
業務費用	6,532
人件費	3,747
物件費等	2,268
その他の業務費用	517
移転費用	3,809
補助金等	3,615
社会保障給付	173
その他	21
経常費用 A	10,341
使用料及び手数料	626
その他	311
経常収益 B	937
純経常行政コスト C = A - B	9,404
資産除売却損	19
損失補償等引当金繰入額	△ 1
その他	2
臨時損失 D	20
資産売却益	6
その他	1
臨時利益 E	7
純行政コスト C + D - E	9,417

区分	金額
前年度末純資産残高	3,728
本年度純資産変動額	△ 751
本年度差額	△ 523
固定資産等の外部変動額	△ 228
本年度末純資産残高	2,977

区分	金額
業務活動収支	363
投資活動収支	△ 686
財務活動収支	275
本年度資金収支額	△ 48
前年度末資金残高	555
本年度末資金残高	507
本年度末歳計外現金残高	53
本年度末現金預金残高	560

※ここに掲載している財務諸表は要約版であり、それぞれの勘定科目の中で重要な科目について表したのとなっています

財務諸表⑦ 連結財務諸表

連結財務諸表は、一般会計等、公営企業会計、公社・県が25%以上出資している法人等を連結対象として作成しています。

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	38,786	固定負債	35,862
有形固定資産	32,971	地方債	31,725
事業用資産	10,143	退職手当引当金	3,296
インフラ資産	22,329	その他	841
物品	499		
無形固定資産	311	流動負債	1,783
投資その他の資産	5,504	1年内償還予定地方債	1,341
流動資産	1,999	賞与等引当金	229
現金預金	785	その他	213
未収金	203		
基金	847		
その他	164		
		負債合計	37,645
		純資産の部	金額
		固定資産等形成分	39,728
		余剰分(不足分)	△ 36,599
		他団体出資等分	11
		純資産合計	3,140
資産合計	40,785	負債及び純資産合計	40,785

区分	金額
業務費用	7,111
人件費	4,040
物件費等	2,547
その他	524
移転費用	3,688
補助金等	3,477
社会保障給付	173
その他	38
経常費用 A	10,799
使用料及び手数料	665
その他	676
経常収益 B	1,341
純経常行政コスト C = A - B	9,458
資産除売却損	20
損失補償等引当金繰入額	△ 1
その他	15
臨時損失 D	34
資産売却益	7
その他	1
臨時利益 E	8
純行政コスト C + D - E	9,484

区分	金額
前年度末純資産残高	3,884
本年度純資産変動額	△ 744
本年度差額	△ 506
固定資産等の外部変動額	△ 238
本年度末純資産残高	3,140

区分	金額
業務活動収支	440
投資活動収支	△ 786
財務活動収支	333
本年度資金収支額	△ 13
前年度末資金残高	745
本年度末資金残高	732
本年度末歳計外現金残高	53
本年度末現金預金残高	785

※ここに掲載している財務諸表は要約版であり、それぞれの勘定科目の中で重要な科目について表したのとなっています

県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)

(単位:億円)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般会計(A)	21,283	21,419	21,505	21,732	22,346	23,782	24,685	25,317	26,048	26,650	27,091	27,099	27,082	27,353	27,512
通常債	19,508	19,296	19,045	18,994	19,272	19,610	19,100	18,643	18,248	17,741	17,182	16,598	16,100	15,918	15,693
通常債以外	1,775	2,123	2,460	2,738	3,074	4,172	5,585	6,674	7,800	8,909	9,909	10,501	10,982	11,435	11,819
特別会計(B)	1,446	1,373	1,282	1,259	1,224	1,153	1,124	1,074	1,059	970	946	903	776	690	695
県営住宅事業	299	281	262	247	242	220	213	199	195	193	192	203	198	198	214
母子父子寡婦福祉資金	19	20	21	21	22	23	25	28	29	30	32	33	34	35	36
就農支援資金	4	4	6	5	6	8	9	10	10	12	12	10	-	-	-
中小企業高度化資金貸付事業等	357	307	254	309	287	274	260	236	220	194	178	167	165	86	83
清水港等港湾整備事業	364	361	347	294	289	262	260	251	263	263	258	256	271	272	274
流域下水道事業	395	392	385	376	371	361	357	350	342	278	274	234	108	99	88
林業改善	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県営林事業	8	8	7	7	7	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
企業会計(C)	1,278	1,217	1,235	1,202	1,218	851	822	794	763	733	700	696	662	617	591
県立病院事業	247	256	327	347	379	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
がんセンター事業	508	519	487	452	443	469	466	457	445	432	416	428	412	381	356
工業用下水道事業	178	172	165	157	149	141	133	125	117	111	106	99	94	90	94
水道事業	256	254	256	246	247	241	223	212	201	190	178	169	156	146	141
地域振興整備事業	89	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(A+B+C)	24,007	24,009	24,022	24,193	24,788	25,786	26,631	27,185	27,870	28,353	28,737	28,698	28,520	28,660	28,798

※県債残高の平成29年度以前は決算ベース、平成30年度は当初予算額
 ※通常債とは、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金及び病院債を除いた県債
 ※平成16年度より県営住宅事業特別会計を設置
 ※県立病院事業会計は平成21年4月1日の地方独立行政法人化に伴い廃止。残高は一般会計に計上
 ※就農支援資金(平成22年度までは農業改良資金)は平成28年3月31日で廃止。残高は一般会計に計上

県民一人あたり県債残高(普通会計)

(単位:千円)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
本県	581.7	583.2	583.7	590.7	606.5	635.1	660.9	679.7	702.0	705.1	720.0	723.5	725.0
全国平均	624.0	622.2	622.4	626.4	631.3	651.6	675.1	683.0	696.6	698.6	698.6	695.1	692.9
順位	15	15	15	15	16	16	16	15	14	12	15	13	13

※順位は47都道府県のうち残高が少ない方から1位とした。

財政課所管基金の年度末残高の推移

(単位:億円)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
財政調整基金	125	116	106	32	88	88	89	89	89	89	89	89	89	89	69
県債管理基金	1,962	2,124	2,321	2,551	2,630	2,423	2,897	3,319	3,670	3,863	4,420	4,587	4,766	5,098	5,159
うち一般会計分	491	454	462	421	454	331	520	558	553	481	742	725	549	426	188
庁舎建設基金	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	59	59	56	56	56
土地開発基金	87	78	70	61	57	57	57	57	57	57	0	-	-	-	-
大規模地震災害対策基金	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
合計	2,196	2,340	2,519	2,666	2,797	2,590	3,065	3,487	3,838	4,031	4,587	4,754	4,930	5,262	5,303
うち一般会計分	725	670	660	536	621	498	688	726	721	649	909	892	713	590	332

※残高の平成28年度以前は決算ベース、平成29年度は最終予算ベース、平成30年度は当初予算ベース

※大規模地震による災害が発生した場合、災害復旧等に要する経費として、各基金より大規模地震災害対策基金に繰入れることが可能であることを条例において規定

※土地開発基金は、平成27年3月31日をもって廃止し、基金残額のうち現金分56億円を庁舎建設基金に積立て、土地分1億円は管財課に所管替え

減債基金への積立ての状況

積立ルール

3年据え置き後、県債発行額の3.7%(27分の1)を毎年積み立て

(単位:億円)

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
満期一括分残高(実償還ベース)	21,709	23,603	24,205	27,275	28,519	27,251	28,245	28,693	29,106	29,405
公募公債	16,937	18,474	19,883	22,583	24,289	23,800	24,400	24,640	24,840	25,522
銀行等引受債	4,772	5,129	4,322	4,692	4,230	3,451	3,845	4,053	4,266	3,883
積立残高	2,080	2,372	2,754	3,114	3,380	3,673	3,858	4,209	4,635	4,934

※ H29年度までは決算額、H30年度は当初予算額

プライマリーバランスの推移

○臨時財政対策債は、地方交付税の振替であるため、一般財源として算定

(単位:億円)

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
歳入 A	11,435	12,146	11,685	11,498	11,528	11,804	11,967	12,273	12,160	12,278
県債	1,837	2,340	2,197	1,952	2,051	1,989	1,859	1,456	1,472	1,799
通常分 B	1,437	1,531	679	731	792	705	648	618	722	1,056
臨時財政対策債	400	809	1,518	1,221	1,259	1,284	1,211	838	750	743
財源不足額 C	4	156	30	40	35	101	40	18	205	151
差引 D(A-B-C)	9,994	10,459	10,976	10,727	10,701	10,998	11,279	11,637	11,233	11,071
歳出 E	11,340	12,040	11,541	11,349	11,360	11,574	11,801	12,136	12,019	12,149
公債費 F	1,608	1,678	1,697	1,715	1,714	1,776	1,799	1,812	1,848	1,849
差引 G(E-F)	9,732	10,362	9,844	9,634	9,646	9,798	10,002	10,324	10,171	10,300
プライマリーバランス H(D-G)	262	97	1,132	1,093	1,055	1,200	1,277	1,313	1,062	771

注1)各年度数値は決算額

注2)財源不足額は、財政課所管基金の取崩額

静岡県公募公債の発行状況

(単位:億円)

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
個別発行	5年債	600	400	400	300	900	500	400	600	300	400	400	400	700	600
	10年債	1,000	900	800	900	1,500	1,100	700	1,000	1,000	1,300	1,200	700	700	1,000
	15年債							100	200	200	300	200	100		
	20年定時									100	300	100	300	400	500
	20年債	200	300	200	400	300	200	300	400	200	100	400	300	400	200
	30年債			200	200	200	200	200	100	300	300	300	340	100	200
	年限未定														200
	合計	1,800	1,600	1,600	1,800	2,900	2,000	1,700	2,300	2,100	2,700	2,600	2,140	2,300	2,700
共同発行	600	600	600	600	600	800	600	600	600	600	300	300	300	300	
総計	2,400	2,200	2,200	2,400	3,500	2,800	2,300	2,900	2,700	3,300	2,900	2,440	2,600	3,000	

※H30年度は発行計画額

お問い合わせ : 静岡県 知事直轄組織 政策推進局 財政課
 メールアドレス : zaisei@pref.shizuoka.lg.jp
 静岡県IRサイト : <http://www.pref.shizuoka.jp/governor/ir2002/index.html>
 TEL : 054-221-2036 FAX : 054-221-2750